

応募・審査について

応募方法

応募は原則WEBサイトからお願いします。

応募受付サイト <http://www.kidsdesignaward.jp>

審査の効率を上げるため、WEBサイトからの応募にご協力ください。

※ 第一次審査は書類による審査となりますので、現物や追加での送付物など、上記応募書類以外の送付物につきましては、審査対象外となり、またご返却もいたしかねますので、ご注意ください。

郵送の場合の送付先 (紙による応募の場合の応募フォーム、CD-ROM、データシート)

〒104-8689 郵便事業株式会社 京橋支店留 キッズデザイン賞応募事務局

郵便、ゆうばっくなど、郵便事業が扱うもののみ、上記留め置きが可能となります。

宅配便等での送付に関しましては返送されてしまいますので、ご注意ください。

審査のポイント

キッズデザイン 3つの理念

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン	子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン	子どもたちを産み育てやすいデザイン
----------------------	---------------------	-------------------

●子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

- ・大人を主なユーザーとする製品であっても、子どもへの安全対策が施されている。
- ・子どもの身体特性、行動特性に準ずる安全・安心への配慮が施されている。
- ・技術、素材等の優れた応用・活用により子どもの安全・安心への配慮が施されている。
- ・子どもたちが無意識のうちに安全・安心を担保される配慮が施されている。
- ・危険な場所や、行為が事前に察知でき、例え転倒ややけどをしても重とくなく状況にならない危険回避能力を育む施策が入っている。
- ・ヒューマンエラーの存在を前提に、不測の状況が子どもにもたらす影響を考慮したデザインを施している。
- ・単一の商品やサービスに限らず、個別の機能・性能を組み合わせ、集約し、統合的に子どもの安全・安心の品質を高めている。
- ・犯罪や暴力、災害などから子どもたちを守る取り組みがある。

●子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

- ・子どもの創造力を喚起・進化させる仕掛け、機能が盛り込まれている。
- ・子どもの様々な能力(芸術、スポーツ、学問など)を気づかせ、開花させる工夫が施されている。
- ・子どもの身体的・精神的発育に対して新たな提案が盛り込まれている。
- ・親(大人)と一緒に楽しく共楽する工夫・アイデアが盛り込まれている。
- ・子どもたちと、両親や家族、あるいは地域や社会との結びつきを、より強固なものにする工夫のあるもの。
- ・子どものコミュニケーション能力、表現能力を高める工夫が施されている。

●子どもたちを産み育てやすいデザイン

- ・育児の際に子どもの安全を確保し、かつ親(大人)の身体的・精神的負担を軽減している。
- ・家事労働などの際に子どもへ気配り、視線を確保できる。
- ・親(大人)の目の届かない場所での子どもの安全・安心を確保している。
- ・出産、育児を安心に、楽しく行うための配慮がなされている。

審査委員

審査委員長

赤池学 [科学技術ジャーナリスト ユニバーサルデザイン総合研究所代表取締役所長]

副審査委員長

持丸正明 [産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター副センター長]

山中龍宏 [小児科医 緑園こどもクリニック院長]

審査委員

赤松幹之 [産業技術総合研究所人間福祉工学研究部門長]

大月ヒロ子 [ミュージアム・エデュケーションプランナー イデア代表]

紺野登 [デザインコンサルタント 多摩大学大学院教授]

佐藤卓 [グラフィックデザイナー 佐藤卓デザイン事務所代表]

竹村真一 [文化人類学者 京都造形芸術大学教授]

西田佳史 [産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター]

ひびのこづえ [コスチュームアーティスト]

益田文和 [東京造形大学教授 オープンハウス代表取締役]

水戸岡鋭治 [インダストリアルデザイナー ドーンデザイン研究所代表]

宮城俊作 [ランドスケープアーキテクト 奈良女子大学教授]

山中俊治 [慶應義塾大学教授 リーディング・エッジ・デザイン代表]

受賞作品の展示会について

本年は、従来最終審査会を兼ねて開催していた「キッズデザイン博」は実施いたしません。巡回展やさまざまなイベントへの参加を通じて受賞作品の展示を行なっていきます。また、流通店舗における販売可能なイベントなど新たな試みを実施していく予定です。

具体的な企画、日程につきましては受賞者の皆さまに別途ご案内いたします。

イベントに応じて、出展料などが発生する場合があります。

主な出展予定

●キッズクリエイト2010

日程:2010年8月27日(金)~29日(日)

場所:幕張メッセ国際展示場 10、11ホール

主催:日刊工業新聞社、NPO国際アーティスト協会

出展料:有料(受賞者の皆さまに別途ご案内します)

●地方巡回展

キッズデザイン協議会会員の自治体を中心に、全国受賞作品巡回展を行なっています。昨年度の実績として、東京、大阪、神戸、福井、仙台、川崎、香川、徳島、高知、愛媛、など全国14ヶ所で開催しました。

キッズデザインマークの使用について

キッズデザインマークの使用にあたってキッズデザイン賞を受賞した対象は、任意でキッズデザインマークを付けて、その成果を訴求することができます。

キッズデザイン賞のシンボルマーク(キッズデザインマーク)のコンセプトは

「割れた形、壊れてはじめて気づく子どもの安全・安心」。

グラフィックデザイナー佐藤卓氏によるデザインです。

キッズデザインマークの使用料については、

WEBサイト<www.kidsdesignaward.jp>で

ご確認ください。



第4回キッズデザイン賞募集

募集期間 2010年4月1日(木)ー5月10日(月)

<http://www.kidsdesignaward.jp>

乳幼児用品や玩具などの子ども向けの製品・サービスに限らず、大人向けのものでありながら、子ども目線を持った、良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などを幅広く募集します。受賞作品には、「キッズデザインマーク」の使用が認められます。

キッズデザイン賞とは、 子どもたちの安全・安心に 貢献するデザイン、創造性と 未来を拓くデザイン、 そして、子どもたちを 産み育てやすいデザインを 顕彰する制度です。



KIDS
DESIGN
AWARD
2010

経済産業大臣賞に加え、
少子化対策担当大臣賞を新設

問い合わせ先

第4回キッズデザイン賞応募事務局

TEL 03-3549-0091 [平日10:00~17:00]

FAX 03-3549-0083

お問い合わせ専用メールアドレス

2010kids@kidsdesign.jp

※上記メールは、問い合わせ専用です。

上記メールに書類を添付しての応募の場合は、無効とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

キッズデザイン賞の趣旨

キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。乳幼児用品や玩具などの子ども向けの製品・サービスに限らず、大人向けのものでも、子どもに対する配慮がなされた良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などを幅広く募集します。受賞作品には、「キッズデザインマーク」の使用が認められます。

キッズデザイン賞受賞作品は、受賞作品展示会への出展、WEBサイトや受賞作品集への掲載などのPR機会を得ることができます。次世代育成や少子化対策など、子どもを取り巻く環境にますます注目が集まるなか、受賞作品のメディア露出機会も年々増え、社会的な位置づけ、評価も高まってきています。

また、昨年度まで大賞と金賞に授与されてきた経済産業大臣賞に加え、今回から少子化対策担当大臣賞が新設されました。これに伴い、上位賞や応募部門の構成を見直し、新たな賞体系となっています。

社会的、文化的な見地から公正な評価を与えられた受賞作品を、その情報や成果とともに広く社会で共有することで、今後の産業・研究活動と子ども環境の高度化を図ることを目的としたキッズデザイン賞に、ぜひご応募ください。

第3回キッズデザイン賞(2009年度実施)の主な受賞作品



- ① 大賞 「蒸気レスIHジャー炊飯器」三菱電機(株) → 炊飯中に蒸気が外部に出ない機構で、子どものやけど防止やおいしさはもちろん、収納性も向上
- ② コミュニケーションデザイン部門賞 「環境教育プロジェクト・地球教室・地球はいま」朝日新聞社 → 既存の教科書でフォローしきれないリアルタイムの環境情報を、副読本として3647の小学校に配布
- ③ 金賞 子育て支援デザイン賞 「のりかえ便利マップ」(株)ナビット → ベビーカーや子ども連れでの移動に便利な、エレベータやエスカレータの位置がわかる電車の乗り換え案内マップ
- ④ 金賞 生活安全デザイン賞 「hairo(はいろ)クリナップ(株) → 子どもを見守りながら体を洗える機能の開発で、入浴中の濡れ事故などを防止

第4回キッズデザイン賞の概要

応募期間

2010年4月1日(木) 応募受付開始

2010年5月10日(月) 応募締切

応募部門

応募者は、キッズデザイン3つの理念から設けられた

以下にあげる6つの中から応募部門を選択します。

■ 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子ども視点による安全・安心に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

- ① キッズセーフティ部門(子ども(概ね0~10歳程度)を対象にしたもの)
- ② ユニバーサルセーフティ部門(大人を含む一般生活者全般を対象にしたもの)

■ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの健全な育成、五感や感性の発達に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

- ③ フューチャーアクション部門(サービス、ワークショップ(WS)、CSR、研究など活動やソフトを中心としたもの)
- ④ フューチャープロダクツ部門(製品、施設などのハードを中心としたもの)

■ 子どもたちを産み育てやすいデザイン

妊婦やその周辺の人、乳幼児や子育て支援に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

- ⑤ ソーシャルキッズサポート部門(サービス、ワークショップ(WS)、CSR、研究など活動やソフトを中心としたもの)
- ⑥ ソーシャルキッズプロダクツ部門(製品、施設などのハードを中心としたもの)

応募作品の分野は次の4つです。

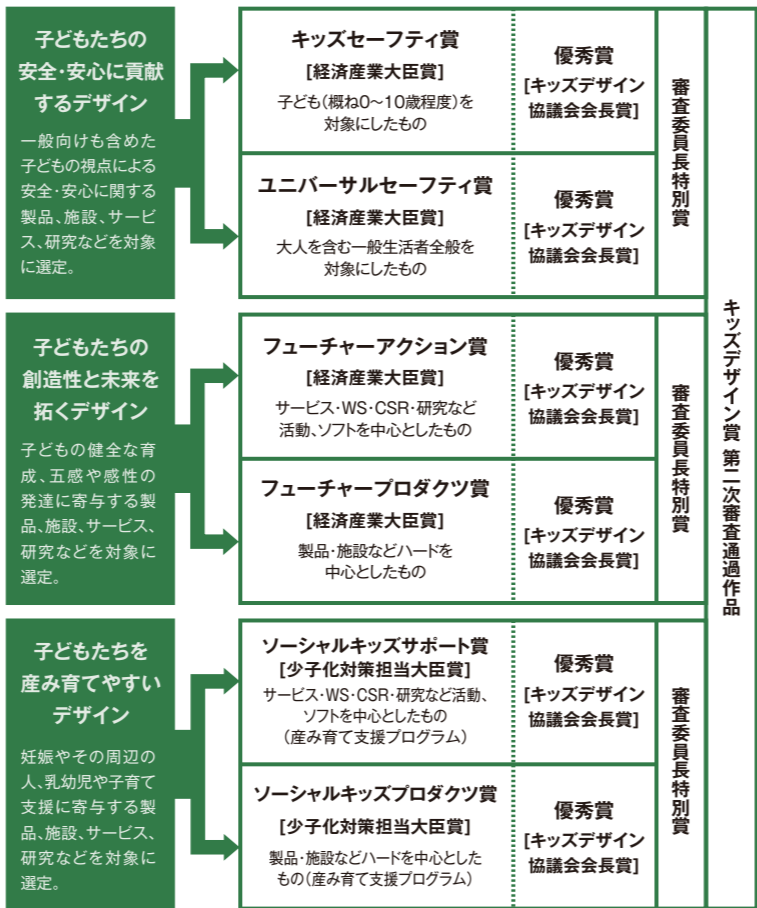
- ③ **商品デザイン分野**
家電、おもちゃ、本、ファッション、アパレル、化粧品、靴、インテリア、寝具、キッチン、日用品、雑貨、文具、伝統工芸品、菓子、飲料、食品、スポーツ、乗り物、福祉機器、ソフト、その他あらゆる工業製品のデザイン。キッズデザインの考え方に資するシステム、機器などを含む。
- ④ **建築・空間デザイン分野**
住宅、施設、公園、景観、土木、造園、緑化、その他あらゆる空間・ランドスケープ・修景のデザイン。
- ⑤ **コミュニケーションデザイン分野**
イベント、ワークショップ、セールスプロモーション、パブリックリレーションなどのコミュニケーション活動のデザイン、また、企業、NPO、自治体等の団体が進める公共性の高い社会貢献活動、地域での取り組み・サービス・行事、ウェブその他の媒体等を活用したコミュニケーション活動など。
- ⑥ **リサーチ分野**
児童研究・科学技術開発などの調査・研究活動。知的財産、ビジネスモデルなどを含む。リサーチ分野においては、原則、受賞作品はそのデータを含めた成果を公開し、社会が共有することでキッズデザインの普及に役立てることを意図しています。そのために、リサーチ分野の審査料は応募者を問わず無料としています。

賞の構成

第二次審査を通過した作品は、キッズデザイン賞として顕彰します。

そのうち、前述の6つの部門それぞれで最も優れたものに最優秀賞(大臣賞)が授与されます。具体的には「キッズセーフティ賞」、「ユニバーサルセーフティ賞」、「フューチャーアクション賞」および「フューチャープロダクツ賞」には経済産業大臣賞が、また、「ソーシャルキッズサポート賞」および「ソーシャルキッズプロダクツ賞」には少子化対策担当大臣賞が授与されます。

また、最優秀賞以外にも各部門において特筆すべき作品については、優秀賞(キッズデザイン協議会会長賞)、および審査委員長特別賞として顕彰します。



審査方法と費用について

● 第一次審査(書類審査):無料

- ・提出された応募書類をもとに審査を行います。
- ・応募受付WEBサイトwww.kidsdesignaward.jpの応募フォームに沿って記入の上、ご応募下さい。
- ・全分野共通の「応募者情報シート」と、分野別の「応募対象情報シート」の両方を必ずご記入ください。なお、WEBサイトで記入例を公開していますのでご参照ください。

● 第二次審査(現物審査):52,500円(税込)

- ・第一次審査を通過した作品のみ、第二次審査(現物審査)として現物による審査を行います。(作品の内容によっては、写真やパネル、映像資料による審査も可)
- ・第一次審査を通過した団体(個人)の皆さまには、5月26日(水)以降に結果通知とともに、作品等の審査会場への搬入(宅配など可)のご案内をいたします。
- ・リサーチ分野における審査料は、応募者を問わず無料とします。ただし、データシートの添付と、受賞後の公開が原則となります。
※リサーチ分野への応募であっても、その内容によっては審査段階で他分野へ移行していただく場合があります。その場合、応募者が自治体や国公立の機関のみでない場合は二次審査料が発生しますので、予めご了解ください。
- ・自治体、ならびに国公立の機関(学校、病院、博物館など)のみが応募者となる場合の審査料は分野を問わず無料となります。(企業等との連名応募の場合は今年度から有料となります)

● 最終審査:審査費用は第二次審査費用に含まれます。

- ・第二次審査で選出した上位賞候補をもとに、最終審査会を開き、部門ごとに最優秀賞(大臣賞)、優秀賞、審査委員長特別賞などの選出を行います。
- ・最優秀賞(大臣賞)、優秀賞等の発表は、8月上旬に行なう予定です。

● 審査結果通知

- ・第二次審査結果は、応募者全員にE-mailと書面(郵送)でお知らせします。

応募・審査について

応募対象

- 日本国内において、製品・コンテンツ・サービスとして市場に出ているもの。また、様々な取り組みや活動で、成果が見られるもの。
- 新たに発売された製品やサービスでなくても、2010年8月1日時点で日本国内で入手可能であれば、応募対象となります。
- 第1回~第3回キッズデザイン賞に応募した製品・サービス等も応募可能ですが、いずれかのキッズデザイン賞を受賞した製品・サービスは応募対象とはなりません。
※ただし、受賞後にモデルチェンジがなされ、明確な工夫点や改善点が見られる場合は応募対象となります。
- デザインが同一で、色やサイズなどのバリエーションがあるものやシリーズ商品については、1件の作品として応募が可能ですが、応募時に全点の内容がわかる資料の提出が必要になります。また、第一次審査の結果によって、第二次審査時に全点提出による審査を必要とする場合、あるいは1点ずつ個別の作品として応募しなおしていただく場合があります。

応募資格

- 応募者は、応募対象の主たる事業者(生産・販売者、施主、プロジェクトの主催者など)、および、そのデザイン、開発、研究などを担当した事業者とします。
- 企業のみならず、個人、団体、自治体、学校、幼稚園、保育園、医療機関、研究機関などからの応募が可能です。
- 輸入製品については、その製品の日本国内における総販売代理契約やライセンス契約を締結した企業・団体からのみ応募が可能です。
- 関与した企業や団体などが共同で応募することも可能です。
- 応募者が主たる事業者でない場合は、主たる事業者と連名で応募するか、第二次審査応募時に、主たる事業者の応募同意書を提出する必要があります。

応募提出物

- **応募フォーム(必須)**
全分野共通の「応募者情報シート」と、分野別の「応募対象情報シート」の両方を必ずご記入ください。なお、応募受付WEBサイトで記入例を公開していますのでご参照ください。
応募受付WEBサイト <http://www.kidsdesignaward.jp>

応募・審査スケジュール

2010年4月1日(木)	応募受付開始
2010年5月10日(月)	応募受付締切
2010年5月11日(火)~5月25日(火)	第一次審査(書類審査)
2010年5月26日(水)	第一次審査結果通知
6月上旬	第二次審査用現物指定場所搬入締切
2010年6月中旬~下旬	第二次審査(現物審査)
2010年7月12日(月)	第二次審査結果通知(キッズデザイン賞告知)
2010年7月	最終審査会
2010年8月上旬	最高賞等発表

● 応募作品の画像(必須)

キッズデザイン協議会が発表するプレスリリースやWEBサイト、作品集などで使用させていただきます。写真は公表が前提となりますので、肖像権等の権利関係をクリアにした上でご提出願います。プレゼンテーションシートに貼付してある写真データについても、別途画像単体でのご提出をお願いします。

- ※ 画像形式(JPEGなど)のデータによるご提出に、ご協力をお願いします。
- ※ ファイルサイズが、上記の合計で2MBを超える場合、CD-ROM等で別途郵送にてご提出をお願いします。

● プレゼンテーションシート(任意)

A4サイズ4枚程度で、ご応募いただく作品の特徴、キッズデザインのポイント、キッズデザインの効果、開発プロセス、開発者の想いなど、応募フォームに記載いただいた以外の事項を、画像などを活用してアピールをお願いいたします。
※ ファイルの形式は、MSワード、MSエクセル、MSパワーポイント、Adobe PDFを使用願います。
※ ファイルサイズが2MBを超える場合、CD-ROM等で別途郵送にてご提出をお願いします。

● データシート(リサーチ分野は必須)(他分野は任意)

- リサーチ分野では、評価・実験・報告書・アンケートなどの結果情報を添付いただきます。A4サイズを標準としますが、書式・体裁は特に指定はございません。
- ※ リサーチ分野においては、受賞後、受賞内容とともにデータシートを公開することを原則としています。
- ※ 商品デザイン分野、建築・空間デザイン分野、コミュニケーションデザイン分野においては任意での提出となります。
- ※ データシートの例:
作品の安全性や機能・効果に関するSG、STなどの認証マークの認定書、業界団体等の基準評価書、PL法基準評価書、独自試験や国等に提出した報告書、落下安全性の試験データなどの定量調査結果や、ユーザーアンケートなどの定性調査結果、など。
- ※ 内部に試験機関がなく、評価試験などが困難な場合には、工業技術センター、産業技術センターなどの対応が可能です。
- ※ ファイルサイズが2MBを超える場合、CD-ROM等で別途郵送にてご提出をお願いします。